



# ながれ



「人との関わり」こそ宝 ～関わりの中で自分をみがく1年に！～

校長 服部 みどり

新しい年2017年の始まりです。今年はとり年です。とり年の「酉」という字は「果実が熟している状態」、「物事が頂点まで極まった状態」を表しているそうです。私も、いつもよりも積極的にものごとについて考え行動に結び付け、実り多い年にしていきたいと考えています。

さて、昨年(2016年)の12月21日に文部科学省から新しい教育についての答申が出されました。その中に「時代の変化を前向きに受け止め「感性」を働かせて社会や人生をより豊かなものにしていく」「一人一人が未来の創り手になる」という文章がありました。「感性」を働かせるということは、そう簡単なこととは思えません。「感性」はどのようにすれば身に付けられ、磨くことができるのでしょうか。いろいろな経験をしたり、人との出会いを大切にしたり互いに学び合ったりしながら、時々それらを振り返って見つめ、その中から自分に合ったものや興味をもったものにより深く挑戦していくと、見えてくるものがあるのではないかと・・・そのように考えました。楽しさも辛さも悲しさも嬉しさもたくさん味わってこそ、自然に心に温かなものが蓄えられ「感性」も育まれていくのではないかと思います。この1年を、お金でも名誉でもなく、温かな人との関わりを大切にする年にしていきたいと思っています。



ところで、「一寸千貫」という言葉をご存知でしょうか。私の好きな言葉の1つです。「一寸」というのは、約3.3cmです。「千貫」というのは約4000kgです。「一辺が3.3cmの細い角材でも、まっすぐに立てれば4000kgの重さに耐えることができる。しかし、斜めになっていたり曲がっていたりすると、もっともっと太い角材でも長時間の重みには耐えられず折れてしまう。まっすぐほど強いものはない。」ということをお伝えている言葉だそうです。

実はこの言葉は、大工さんが大切にされている言葉なのだそうですが、私は「材木だけではない、人もまっすぐなのが一番だ。」と思います。私は、「まっすぐ」というのは、胸を張って堂々と生きるということだと思います。日々の生活の中で、文字通り背筋を伸ばした姿勢を心がけることも大切ですが、人としての生き方そのものについて考えてみると、まっすぐに生きるということは、嘘偽りなく驕ることなく正しいと思ったことを貫く勇気をもって生きるということではないかと考えています。まっすぐだからといって、人の意見に耳を貸さない頑ななところがあれば、やはり志を全うできず、折れやすくなってしまいます。正しいかどうかを判断し、正しいと思ったことを相手に伝える勇気、行動に移す勇気、そして人の意見を取り入れる勇気を、戸塚第三小学校の子供たちに、是非もってほしいのです。そのために、教職員全員が一丸となり地域・保護者の皆様と協働で、子供たちのために力を尽くす1年にしていきます。



## うめの花

うめの花が さいたら  
春だってさ  
ぬまに こおりが はっても  
やっぱり 春だってさ  
春は 風のおいで  
わかるってさ  
うめのつぼみが その風の  
においをしてっているってさ  
うめの花が さいたら  
春だってさ  
耳の しもやけ かゆくても  
やっぱり 春だってさ  
(宮澤 章二)

## 1月の行事予定

※1月の避難訓練は予告なしで実施します。

1	日	元日	17	火	身体計測 123年	放課後学習教室
2	月		18	水	B時程4時間授業 一斉下校13:10	
3	火		19	木	学校公開① B時程5時間授業 一斉下校14:00	
4	水				学校保健委員会(保護者対象) 14:15～	
5	木		20	金	学校公開② 神田川ファンクラブ4年	
6	金		21	土	学校公開③・土曜授業参観 道徳授業地区公開講座 租税教室6年	
7	土				4時間授業一斉下校12:05 親子カレ-ソク4年・12:05～12:50	
8	日		22	日		
9	月	成人の日 冬休み終了	23	月	読書幹会 読書運動会(～27日) 学校給食運動会(～27日)	
10	火	3学期始業式 B時程4時間授業 一斉下校12:25			防災授業3年 クラブ活動4～6年 地域協働学校15:30～	
11	水	給食始 書き初め会 安全指導	24	火	社会科見学5年	放課後学習教室
12	木	新宿区学力定着度調査2～6年	25	水		
13	金	韓国小学生訪問	26	木		
14	土		27	金		放課後ゼミ
15	日		28	土		
16	月	全校朝会 歯磨き週間(～20日) 書き初め展(～21日) 委員会活動5・6年 身体計測4～6年	29	日		
			30	月	全校朝会 持久走旬間(～2月10日)	
			31	火		放課後学習教室

### 道徳授業地区公開講座

道徳担当 坂井 直樹

小学校では、人間としてよりよく生きるための基礎・基本となる道徳性を育成することをねらいとし、道徳の授業を行っています。保護者の皆様にも道徳の授業を参観していただく機会として、学校公開中の1月21日(土)、1～3校時に各学年とも道徳の授業を行います。ふだん行っている道徳の学習の様子をぜひ御覧ください。

また今年度は、井上 冬彦先生を講師にお招きし、高学年の授業とそれに引き続いて講演を行います。井上先生は、井上胃腸科・内科クリニックで院長先生をなさっている傍ら、自然写真家の肩書もおもちです。アフリカで自然写真を撮影したお話を聞きながら、命の大切さを学ぶよい機会になります。ふるって御参加ください。

#### 道徳授業地区公開講座：授業・講演会

日時：1月21日(土) 8時30分～11時55分

1部(授業) 8:30～11:20

1校時1・3年 2校時2・4年 3校時5・6年

2部(講演等) 11:20～11:55

講演者：井上胃腸科・内科クリニック 理事長・院長  
井上 冬彦 先生

演 題：「なぜ、命は大切なのか」

場 所：体育館 (変更する場合があります)

### 学校栄養士より

学校栄養士 高橋 彩夏

給食の時間に各学年の教室をまわりながら、折に触れてその日の給食献立にまつわることを子供たちにお話をさせていただいています。給食を食べながらではありませんが、うなずきながら聞いてくれる子供や、受け答えをしてくれる子供もいます。話を楽しみにしてくれている子供もいて、「今日もお話聞きたい!」と言ってくれるので、こういった話から食に興味をもってもらえることをうれしく思っています。その他にも、「きょうの給食もおいしかったよ!」「きょうは全部食べられたよ!」など、給食への感想や子供たちの成長を感じられる言葉もあり、日々の活力となっております。給食は子供たちのお腹を満たすだけでなく、給食の準備の際に他の人と協力することや、食事のマナーなどを学ぶ時間でもあります。また、季節の食材を取り入れた献立や、郷土料理、世界の料理に親しむことで、食文化などを知るきっかけとしています。給食室では、おいしくなる工夫はもちろんのこと、子供たちが給食を楽しめるようにと、行事食などのときに野菜を型抜きしたり、食缶の盛り付けを工夫したりしています。今後も栄養士と調理員5名とで、「安全で安心なおいしい給食」作りと、生きた教材となるような給食献立作りを心がけてまいります。

### 書き初め会

書写担当 湊 瑛莉佳

今年も書き初め会を行います。書き初め会・書き初め展を行うにあたって、「日常と異なる用紙を使うことを通して、新しい年への希望と抱負をこめて字形を整えて書いたり、配列よく書いたりする技能を高める。」「落ち着いた雰囲気の中で書いたり、作品を鑑賞したりすることによって、文字に対する興味や関心を深め、文字感覚を育てるようにする。」ということを行なっています。

希望と抱負を込めて、字形を整えて書くためには、見本をよく見て、落ち着いた気持ちで文字と向かい合うことが大切です。見本をじっくり見ながら、落ち着いた気持ちで文字と向かい合うことは、日頃他教科の授業ではなかなかできないことです。しかし、書写で身に着けた「集中力」は、他教科の授業にも生かすことのできる力となります。

一人一人が自分自身の文字と向かい合い、満足のいく作品を書き上げることができるよう、指導しております。ぜひ、書き初め展もご覧になって頂ければと思います。よろしくお祈りいたします。

【日時】 書き初め会：1月11日(水) 書き初め展：1月16日(月)～1月21日(土)

【展示場所】 ピロティ(各学年5点)・廊下